

春風秋霜 7月号

令和5年7月21日
島田市教育委員会だより
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 家庭における生成AIの利用について市教委より通知を出しました

最近話題になっている生成AI（ChatGPT、Bing Chat、Bard）について新聞やマスコミをにぎわせていますが、島田市教育委員会として保護者の皆さんに生成AIの使用について以下のようなお知らせを出しました。

島田市教育委員会では、文部科学省通知「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき、家庭における生成AIの利用に関する利用方針について下記のとおりまとめました。

つきましては、日頃の家庭学習や長期休業中における生成AIの利用について、適切な御対応をお願い申し上げます。なお、文部科学省のガイドラインについては暫定的に取りまとめたものであるため、今後国方針に変化があれば、市方針についても改訂を行う場合がありますので、御承知おきください。

記

- 年齢制限・保護者の同意等の利用規約を守ることが、前提となります。（特に小学校段階の児童に利用させることには慎重な対応を取る必要があると示されています。）

※利用規約（例）：ChatGPT…13歳以上、18歳未満は保護者同意

Bing Chat…成年、未成年は保護者同意

Bard…18歳以上

- 基本的な考え方として、生成AIを使いこなすための力を意識的に育てる姿勢は重要と考えますが、生成AIに全てを委ねるのではなく、情報の真偽を見極め、自分の判断や考えを持って文章をつくることが重要であると捉えています。
- 長期休業中の課題等（例：読書感想文、理科・社会の研究等）において、生成AIに作らせたものを自分の成果物として提出することは著作権保護の観点から不正行為に当たります。また、活動を通して学びを得ることもできず、自分のためにもなりません。保護者の皆様には、お子様の生成AIの不適切な利用につながらないよう見守りをお願い申し上げます。
- 島田市では、今後もデジタル・シティズンシップ教育を推進し、端末を活用しながら、自分で考え判断して行動する力や、情報活用能力の育成を図ります。

2 ツバメが巣立っていきました

我が家で育てているツバメが旅立つ練習をしていました。ツバメが巣立っていくためには、色々な天敵に負けないようにしなければいけません。今回、ツバメの巣の中には5羽の子どもたちが育てていました。知り合いが我が家に来た時に、ツバメの巣を見つけて、ツバメの巣は蛇に狙われやすいという話をしていました。以前、

蛇が巣に近づいているところを見たことがあり、壁伝いに蛇が上がっていかないように、シリコンを吹き付けたり、蛇が嫌がる匂いをまいたりしたところ、幸いにして蛇には狙われずに済みました。ただ蛇が嫌いな匂いだけあって、肥料の腐ったような匂いがして、足につくとなかなか取れません。

人間と同じで、ツバメの子どもたちの中には餌をたくさん食べる子どもと、あまりえさを食べられない子どもがいて、そのような子どもは、育ちも遅く、なかなかひとり立ちできません。写真は、最後まで巣に残った一羽です。

先ず、4羽が巣立ち、最後まで残った一羽も巣立っていきましました。親として、子供の成長を見守ったような気持ちになりました。きっと、海を渡って元気に育ってくれることと思います。



肘かけ椅子

「公園デビュー」

教育委員 原 喜恵子

例年受診している「総合がん検診」で精密検査の項目が年々増えていることを受け、体を動かす機会を増やしていかなくてはと真剣に思うようになりました。

そこで始めたのが手軽にできる散歩。

私の住んでいる家山は、緑豊かな自然がいっぱいの所です。ヘラブナ釣りで有名な「野守の池」、夏のイベントやイルミネーションでにぎわう「天王山公園」、桜の木々に囲まれた「緑地公園」等々散歩にぴったりのコースがたくさんあります。

私が選んだコースは「天王山公園」です。自宅から5分もかからない近場の「天王山公園」怠け者の私にはぴったりの場所です。

朝、家の仕事を済ませると早速出発です。公園入口は緩い坂道ですが途中何度か呼吸を整えて上ります。中段の広場には「ぼっくり地蔵さん」「六面観音様」「戦争慰霊碑」等お参りするところが何箇所かあります。広場の西側には、眼下に野守の池を眺めることができる東屋があり、そこには上段の散歩を終えた人生の先輩方が集い、楽しそうにおしゃべりに興じています。80代の方も多く、皆さん本当に元気いっぱいびっくりします。

私は、天王山公園の散歩を始めるまでは、まさかここにこんなに大勢の方が集まってくるとは知らずにいました。皆様方と「今日は、いい天気ですね。」「わらびがたくさん出ていましたねえ。」等、二言三言、言葉を交わすうちに私もその仲間の一員になったような気がしました。若い子育てママさんの「公園デビュー」ではないけれど、私も「天王山公園デビュー」をして地元の方々と少しでもつながりができたことをうれしく思いました。また、天王山の散歩では四季折々の変化を今まで以上に身近に感じることができるようになったのも、大きな喜びの一つです。

大きな災害や地震など不安な出来事が増えていますが、この静かで平和な時間がいつまでも続いて欲しいと強く願っています。